令和5年3月

令和4年度　大阪国際中学校高等学校　学校評価　実施報告

大阪国際中学校高等学校

校 長　松 下 寛 伸

Ⅰ．めざす学校像

「未来社会を担う、『志』と『人間力』をもった人材を教育・輩出する」との揺るぎない評価を確立した学校

・安定的に定員を満たす入学者を獲得し、財務上の経営安定と積極的な事業展開を行う基盤を確保

・校訓「人間をみがく」に沿い、「質の高い学びとバランスの取れた人間形成」を実践

・すべての生徒が在学中に自ら『志』を立て、社会での存在価値を見出す。生徒たちのその『志』の実現を応援することを最重要事項として推進

・生徒は学ぶ意味を理解し、お互いの価値観を認め合い、学び合う。そうした姿勢が学校文化として定着

・国際バカロレアの理念が学校全体に浸透し、「国際学園」の名にふさわしい学びの環境が確立

・学園創立100周年を目前にして、「基本戦略プラン」の展開は学校を特徴化するものとして機能、完成形となり、新たな第二ステージを計画・展望

・教職員も常に向上心を持ち、さらなる成長への努力を怠らない。闊達で活気あふれる組織風土を形成

Ⅱ．中期的目標

1．「質の高い学びとバランスの取れた人間育成」の実践

・「基本戦略プラン」に沿った学校運営の実施。項目ごとの推進時間軸と具体策を策定し、年度別に計画に沿った運営を行う。

・4つの特色的な学び、「人間をみがく」「国際感覚をみがく」「創造力・表現力をみがく」「個を支える」の実践。これらを通じ、社会に貢献できる人材に共通した資質（社会人基礎力）を修得させる。

・各コースのカリキュラム編成、授業展開においては、新学習指導要領に準拠。知識の理解の質をさらに高め、確かな学力を育成するとともに、社会の変化に対応できる資質と能力を高める。

・国際バカロレアの理念を学校全体に及ぼし、国際バカロレア機構が定める「IB Learner Profile」を本校の「目指す生徒像」に設定。生徒の『人間形成』教育の柱とする。

・時代の要請に応えるICT教育を展開するため、Chromebookを一人一台配備。また、施設設備面の充実のみならず、教員のスキルや指導力向上など、あらゆる方策を講じていく。

・校舎棟内に配置された約15,000冊の本を活かし、生徒たちの進路や価値観、人生観に影響を及ぼす多くの気づきを与えていきたい。

・生徒の「学び」と「人間形成」のための土台づくりとして、新入生には入学直後に本校独自のスタートプログラムを展開。学ぶ意味と姿勢を理解し、学校生活をスタートするにあたってのモチベーションを高める。

・従来の女子バレーボール部に加えて、今年度からは女子ラクロス部・吹奏楽部をシンボリッククラブとして位置付け、強化を図っていく。

2．進路指導

・生徒一人ひとりがその多彩な個性・志を実現すべく、希望する進学先・進路に進んでいるという姿を明示する。その結果が、世の中から評価される形の進路先・内容・実績となれば、出口戦略（進路）と入口戦略（募集）がマリーする好循環が生まれる。

・生徒が学ぶ意味を理解し、自ら立てた志の実現のため主体的に勉強に取り組めば、より確かな学力が身につき、進路先も多様となる。それがまた本校の魅力の一つとなる。

・国際バカロレアコースでは、所期の想定に沿い、海外大学も含めた幅広い進路先を実現していく。

・総合探究コース・幼児保育進学コースを中心に、大阪国際大学・短大との連携・協働を深め、学びの特色としての位置付けを高めるとともに、安定的な内部進学者数を確保する。

3．生徒指導

・挨拶、時間厳守、校内美化を徹底するとともに、学校活動全般を通して円滑な人間関係の構築を学ばせる。

・高校1年生は、IBコースを除く全コースの生徒が、今年度より小笠原流礼法の授業を正課で受けることとなる。この授業を通じ、「他者を思いやる心」を身に付け、各々の人間力向上にもつなげていきたい。

・不登校など、配慮を必要とする生徒への対応のため、今年度より新たに生徒相談担当の職員を配置。各学年と保健室、生徒相談担当職員にスクールカウンセラーが適宜連携を取りながら、適時適切に対応していく体制とした。

・シンボリッククラブの設定など、クラブ活動もより活性化させ、生徒のクラブ活動加入率も向上させていきたい。

4．グローバル人材の育成

・国際バカロレアコースの設立を機に、国際バカロレアの理念が学校全体に浸透し、「国際学園」の名にふさわしい学びの環境が確立されている姿を目指す。

・グローバルコモンズを活用したネイティブ教員との交流や、豊富な洋書の蔵書を使った取り組みなどを活性化させる。

・イマージョン教育導入、英会話力強化プログラム導入、グローバル体験、英語スピーチコンテスト等により、GLOBAL MINDを醸成するとともに、英語コミュニケーション能力の向上を図る。

・海外修学旅行に関しては、コロナ禍の影響により、今年度も見送りの方向。海外研修旅行に関してはコロナの状況を見ながら、実施の可能性を探っていく。

・姉妹校との交流に関しては、留学生の受け入れを模索していくもの。また、オンラインを通じた交流なども取り入れていく。

5．人材開発

・教員の指導力強化と将来に向けた中核人材の育成に向け、体系的な研修制度・人材開発システムの構築を図る。

・新任教員を対象に、年度初めの導入研修を実施するとともに、ピアサポートプログラムにて先輩教員が新任教員の仕事面・メンタル面のサポートを行い、成長を支援する。

・「教員力」の強化に向け、新たに人材開発システムを構築し、令和5年度からの導入に向けて、各種研修、体験を提供する準備を行う。

・人材開発システムにて、中核・役職候補人材の強化を図り、次世代の大阪国際を担う人材を計画的に育成する仕組みをスタートさせる。

・「基本戦略プラン」や「教育理念」に沿った業務活動・生徒育成を教員各個人の業務目標に織り込むことを必須化。本校が目指す姿を、教員が行動ベースで具現化していく。

6．組織改革

・教務システムBLENDおよびグループウェアGaroonなどのシステムやICTを活用し、校務全般の効率化を図ることで、教職員が「生徒に振り向ける時間」を極大化し、ひいては教職員の働きがい向上につなげる。

・教職員一人ひとりが新校の教育理念を理解し、「新校ファースト」で能動的に、かつ皆で協働するマインドを醸成すべく、インナーブランディング活動を計画的に推進していく。

・教職員も常に向上心を持ち、さらなる成長への努力を怠らない。闊達で活気あふれる組織風土を形成する。

Ⅲ. 本年度の取組内容及び自己評価

自己評価:◎目標以上　〇ほぼ目標通り　△目標に達していない　×全く取り組めていない　各、肯定的評価の70%以上を基準とする

今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標(学校評価アンケート)	自己評価
(1) 「質の高い学びとバランスの取れた人間育成の実践」	(1) ア. 新校の開校にあたって、確かな学力の育成だけでなく、社会の変化に対応する資質や能力を高める イ. ICT活用を積極的に導入するなどによる、よりわかりやすい授業への改善の取り組みを推進する	(1) ア. ①「学校の授業は、総じてわかりやすい」 ②「学校は、学力向上に取り組んでいる」 ③「学校は、学習だけでなく、将来の自分の生き方を考えさせ、豊かな心を育て方を考えさせ、豊かな心を育てようとしている」 ④「学校がよりよく変わっているように感じる」(生徒) ⑤「校長は、積極的に学校改革に取りり組んでいると思う」(保護者) イ. 「ICT機器を活用して、学習指導・・生活指導が行われている」	(1) ア. ①肯定的評価 ・中　学　92. 7%(昨年度　85. 9%) ・高　校　76. 7%(高3　88. 4%　昨年度　92. 2%)　【◎】 ②肯定的評価 ・中　学　93. 6%(昨年度　90. 4%) ・高　校　87. 0%(高3　93. 4%　昨年度　95. 6%) ・中学保護者　80. 2%(昨年度　81. 3%) ・高校保護者　79. 6%(昨年度　81. 2%)　【◎】 ③肯定的評価 ・中　学　87. 3%(昨年度　74. 7%) ・高　校　72. 9%(高3　85. 3%　昨年度　80. 4%) ・中学保護者　75. 1%(昨年度　81. 4%) ・高校保護者　69. 6%(昨年度　69. 1%)　【〇】 ④肯定的評価 ・中　学　76. 8%(昨年度　67. 2%) ・高　校　58. 7%(高3　83. 4%　昨年度　58. 7%)　【〇】 ⑤肯定的評価 ・中学保護者　78. 3%(昨年度　77. 0%) ・高校保護者　68. 3%(昨年度　70. 2%)　【〇】 イ. 肯定的評価 ・中　学　88. 6%(昨年度　73. 1%) ・高　校　73. 5%(高3　75. 3%　昨年度　69. 1%)　【◎】 ※　授業は概ね、ICTの導入なども含めて生徒の理解を促しており学校改革の取り組みも理解されている。特に大和田校で入学した生徒たちに「変化」が高く意識されている
(2) 「進路指導」	(2) ア. 生徒1人1人に応じた進路指導を実践し、多様な進路を保障する イ. 将来の目標を考える機会を確保するとともに、生徒の希望進路の実現に向けた取り組みを充実させる	(2) ア. 「大学の進路指導に関して適切なアドバイスがある」 イ. 国公立大学50名、関関同立200名の合格を目指す	(2) ア. 肯定的評価 ・高　校　81. 7%(高3　91. 9%　昨年度　88. 7%) ・高校保護者　76. 0%(昨年度　74. 6%)　【◎】 イ. 進学実績(R5. 3. 14現在)　集計中 ・国公立大学　44名(昨年度　49名) 京都大　0名(昨年度　1名)　大阪大　6名(昨年度　3名) 神戸大　4名(昨年度　8名) ・関関同立　264名(昨年度　219名) 〈卒業生数　270名(昨年度　254名)〉　【◎】 ※　進路意識の多様化しているなか、現実に進路実現に直面している高3生では指導に理解がすすんでおり、一律な指導ではなく、個々に応じた進路実現のための指導が行われていることがわかる
(3) 「生徒指導」	(3) ア. 生徒指導や校内美化など、新しい見地をもって指導を行い、調和のとれた学校生活を目指す イ. 生徒理解の促進と安心な学校造りのための体制の促進をめざす ①精神的な疾患等による長期欠席者または不登校者に対するケアを実施し、転・退学の防止に努める ②SNS利用に関するトラブルなど、いじめにつながる問題事象の発生防止に努める	(3) ア. ①「学校は、いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいると思う」 ②「学校は、生徒の間違った行動を改めるように指導している」 ③「校則に則った服装をすること、また、行動がとれるよう、徹底した指導ができている」(教員) イ. 転・退学者数が在籍生徒の1. 0%以内 ウ. 「困ったとき、相談したり手助けしてくれる先生がいる」	(3) ア. ①肯定的評価 ・中　学　85. 5%(昨年度　86. 9%) ・高　校　89. 2%(高3　95. 0%　昨年度　92. 6%) ・中学保護者　82. 5. %(昨年度　83. 3%) ・高校保護者　87. 0%(昨年度　88. 8%)　【◎】 ②肯定的評価 ・中　学　94. 5%(昨年度　88. 9%) ・高　校　92. 0%(高3　93. 1%　昨年度　92. 2%) ・中学保護者　88. 5%(昨年度　87. 9%) ・高校保護者　88. 4%(昨年度　89. 0%)　【◎】 ③肯定的評価 ・教　員　62. 1%(昨年度　86. 0%)　【〇】 ※　校内での生徒指導は概ね正しく行われている一方、新校になり、新たにIB生を受け入れたことで新たな生徒指導の体制を取り入れたため、教員側に生徒指導に対するとまどいがみられ、評価が大きく下がった面がある イ. R4年度　転・退学者(R5. 3. 1現在) 中学校　4名(1. 7%)　高校　15名(1. 6%) 〈昨年度同時期　中学1名(0. 5%)、高校13名(1. 6%)〉　【〇】 ウ. 肯定的な評価 中　学　80. 5%(昨年度　76. 8%)

	ウ. 文武両道により知徳体のバランスの取れた人材育成を目指す	エ. 部活動の加入率80%以上	高　校　78. 3%(昨年度　84. 9%)　【◎】 エ. 部活動(高校)の加入率　699名／927名(75%)　【○】 ※　スタートプログラムとして年度当初に高校1年、中学1年生にSNS講演を実施。中学生に対してはさらに7月に全員対象に実施するなど、近年、学校内でもSNSによる問題事象が増えており、知識やマナーをしっかりと理解させる必要がある また、昨年度よりは減少しているが、場所や時間が制限されているなかでの部活動に対する期待も大きく、生徒の満足度は高いものと考えられる
(4) 「グローバル人材の育成」	(4) ア. 多文化理解の取り組みの実施 イ. イングリッシュセミナーやグローバルヴィレッジ、英語スピーチコンテストなど英語によるコミュニケーション能力の育成の充実 ウ. 海外の中学・高校との交流を実施する	(4) ア.「学校は国際理解活動・ボランティア活動に取り組んでいる」 イ. 英語検定2級以上 GTEC690点以上の取得80%以上 ウ. 姉妹校などとの交流を再開する	(4) ア. 肯定的評価 ・中　学　81. 8%(昨年度　70. 2%) ・高　校　68. 9%(昨年度　59. 9%) ・中学保護者　77. 4%(昨年度　77. 7%) ・高校保護者　70. 4%(昨年度　57. 4%)　【○】 イ.　①英検の結果(R4新規合格者) 準1級　中学　0名　高校　5名　計　5名　(昨年度　3名) 2級　中学　10名　高校　164名　計　174名　(昨年度　78名) 準2級　中学　29名　高校　143名　計　172名　(昨年度　133名) 3級　中学　39名　高校　53名　計　92名　(昨年度　57名) ②GTECの結果 高3　受験者平均　917. 2点　(昨年度　885点) 690点以上(A2以上)　98. 5%(256名／260名) (昨年度　98. 7%) B1以上の高得点者　92名(35. 4%) ウ.　海外研修や海外修学旅行は令和4年中は中止 R5年3月～徐々に実施 高校　UCLA研修(米)、ベトナム医療研修 中学　タスマニア姉妹校研修(豪)　【○】 ※　コロナ禍でできなかった海外渡航がようやく徐々に解禁となり、生徒たちのなかでも国際交流に対する期待度は高い。それに伴い、英語力の強化などの要望が高まっているように考えられる
(5) 人材開発	(5) ア. 新規採用教員及び若手教員の育成 年間を通して、管理職やベテラン教員による授業見学や面談により指導助言を行うとともに、若手教員間での授業研究などを促進する イ. 中堅・ベテラン教員のリーダーシップの育成 新教育課程を意識し、教員間で教科指導、生徒指導などの相互理解を深める	(5) ア. ①「初任者等経験の少ない教員を学校全体でサポートする体制がある」 ②「効果的な校内研修計画を立案し、教職員に実施している」(教員) イ. ①「教員間で授業内容を評価、意見交換などを行う機会がある」 ②「研修、研究に参加した成果を、他教員に伝えて情報を共有する体制がある」(教員)	(5) ア. ①肯定的評価　42. 4%(昨年度　37. 5%)　【△】 ②肯定的評価　67. 8%(昨年度　49. 1%)　【○】 ※　校長による授業見学及び面談を年2～3回実施した。 指導教諭による授業見学やサポートなどは随時実施 若手教員同士のピアサポート体制を構築されるなど数値的にはまだまだ低いが、昨年度よりは大きく改善がみられている イ. ①肯定的評価　71. 2%(昨年度　63. 2%)　【◎】 ②肯定的評価　59. 3%(昨年度　23. 2%)　【○】 ※　2学期に全校で授業見学週間を設定 11月18日には千々布 敏弥先生をお招きして、各教科で研究授業を実施 午後からは先生に指導講評いただく機会を設けるなど、校内研修の機会を総合企画室を中心に立案　、数値的にも改善の傾向が見られた　【△】
(6) 組織改革	(6) ア. 各種会議の時間短縮や事務の効率化 運営委員会、職員会議などで校内諸会議のペーパーレス化を進め、1時間以内を目標に効率的に会議を実施 生徒指導の時間を確保するとともに「働き方改革」を幅広く実施していく イ. 保護者への連絡、PTA活動の活性化など、学校と家庭の連携強化を図る	(6) ア.「教職員会議をはじめ、各種会議が有効かつ効率よく機能している」(教員) イ. ①「先生は保護者の相談に適切に応じ、意思疎通をきめ細かく行っている」(保護者) ②「PTA活動は活発である」(保護者)	(6) ア. 肯定的評価　66. 1%(昨年度　50. 9%)　【○】 ※「働き方改革」の実施からも各会議などの効率化は必至でそれに向けてまだ、数値は低いが、改善の方向性が打ち出せたのではないかと考えられる イ. ①　肯定的評価 ・中学保護者　81. 6%(昨年度　78. 4%) ・高校保護者　75. 5%(昨年度　76. 6%)　【◎】 ②　肯定的評価 ・中学保護者　87. 6%(昨年度　58. 7%) ・高校保護者　86. 3%(昨年度　53. 1%)　【◎】 ※　コロナ禍が改善してきたため、PTA活動も元にもどりつつあり、結果、数値も大きく改善した。また、学校と保護者との意思疎通なども新たに導入した「BLEND」などを通じて積極的に行われており、数値も上昇している

【自己評価アンケートの結果と分析・学校関係者評価委員会からの意見】

自己評価アンケートの結果と分析〔令和５年２月実施〕

【結果】

資料①　令和 ４年度　学校評価（ 生徒 ）アンケート集計表

資料②　令和 ４年度　学校評価（保護者）アンケート集計表

資料③　令和 ４年度　学校評価（教職員）アンケート集計表

【分析】

１．実施状況

対　象		対象者数	回収数	回収率	調査期間	備　考
生徒	高校３年	271	259	95.6%	令和５年２月24日	資料①
保護者	全学年	1156	1037	89.7%	令和５年２月１日～24日	資料②
教職員	常勤	79	59	74.7%	令和５年２月９日～21日	資料③

２．対象別アンケート結果

○ 生徒（高校３年生）

アンケートの項目（全32項目）を肯定的評価（A+B）の割合で集計したのが表１である。肯定的評価が80%以上の評価の高い項目は26項目で全体の81%、肯定的評価が60%未満の評価の低い項目は０項目であった。評価Ａ＋Ｂが90%以上の「評価の高い」16項目は昨年より４項目の増加、80%以上では７項目の増加であった。

表１　肯定的評価（A+B）の割合別項目件数

(%)	100～90	～80	～70	～60	～50	～40	～30	～0	項目総数
Ｒ４年度	16	10	5	1	0	0	0	0	32
Ｒ３年度	12	7	7	4	2	0	0	0	32
Ｒ２年度	6	11	9	5	0	1	0	0	32
Ｒ元年度	17	8	4	1	0	0	0	0	30

ア．評価Ａ＋Ｂが90%以上の「評価の高い」項目

・保健室での処置や相談の対応は、親切である	96.9%	0.0%
・学校は、資格、検定の取得に取り組んでいる	96.1%	1.8%
・学校は、わからなかったときの補習、質問指導に熱心である	95.4%	0.6%
・先生は、いじめや暴力のないクラスづくりに取り組んでいる	95.0%	2.4%
・先生は、熱心に指導している	95.0%	1.5%
・自分のクラスは総じて楽しい	94.6%	5.9%
・学校は、学力向上に取り組んでいる	93.4%	-2.2%
・学校は、緊急時の対応を生徒に伝えている	93.4%	0.0%
・先生は、生徒の間違った行動を改めるように指導している	93.1%	0.9%
・学校は、災害が起こった場合の訓練を行っている	91.9%	-2.0%
・文化祭・体育祭、宿泊行事などの学校行事に、積極的に参加している	91.9%	15.4%
・大学の進路指導に関して適切なアドバイスがある	91.9%	3.2%
・先生は、生徒の人権を尊重する姿勢で指導にあたっている	91.5%	4.5%
・困ったとき、相談をしたり手助けしたりしてくれる先生がいる	90.7%	3.8%
・学校の施設・設備は、学習環境の面で満足できる	90.3%	38.2%
・新型コロナウイルス感染防止対策を適切に行っている	90.3%	-1.8%

イ．評価Ａ＋Ｂが70%未満の「評価の低い」項目

・学校の建学の精神を理解している	68.7%	-9.0%

○ 保護者（高等学校）

アンケートの項目（全35項目）を肯定的評価（A+B）の割合で集計したのが表2-1　である。肯定的評価が80%以上の「評価の高い」項目は17項目で全体の49%、肯定的評価が60%未満の「評価の低い」項目は１項目あり、授業参観やＰＴＡ活動など、新型コロナウイルス感染防止のために実施できなかった項目であり、次に低い項目は生徒会活動である。

表2-1　肯定的評価（A+B）の割合別項目件数

(%)	100～90	～80	～70	～60	～50	～40	～30	～0	項目総数
Ｒ４年度	1	16	13	4	0	0	1	0	35
Ｒ３年度	3	13	10	3	4	1	1	0	35
Ｒ２年度	6	11	12	2	2	2	0	0	35
Ｒ元年度	3	15	12	1	2	0	0	0	33

ア．評価Ａ＋Ｂが 85%以上の「特に評価の高い」項目

・お子さまは、文化祭・体育祭、宿泊行事などの学校行事に、積極的に参加している。 90.1% 5.4%
・新型コロナウイルス感染防止対策を適切に行っている。 89.8% -1.8%
・学校の施設・設備は、学習環境の面で満足できる。 89.4% 32.4%
・学校は、資格、検定の取得に取り組んでいる。 89.0% -1.0%
・学校は、お子さまの間違った行動を改めるように指導していると思う。 88.4% -0.6%
・事務職員の保護者への対応はよい。 88.3% -0.5%
・学校は、校内美化、校区美化活動に取り組んでいると思う。 87.2% 11.1%
・学校は、保護者に出す文書・事務連絡を適切に行っている。 87.1% -3.4%
・学校は、いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいると思う。 87.0% -1.8%
・学校でのＰＴＡ活動は活発である。 86.3% 33.3%

イ．評価Ａ＋Ｂが 65%未満の「評価の低い」項目

・学校は、保護者がお子さまの学校生活を参観する機会をよく設けている。 35.0% 1.2%
・学校の生徒会活動は活発だと思う。 62.3% -0.7%

○ 保護者（中学校）

アンケートの項目（全 35 項目）を肯定的評価（A+B）の割合で集計したのが表 2-2 である。肯定的評価が 80%以上の「評価の高い」項目は 27 項目で全体の 66%、肯定的評価が 60%未満の「評価の低い」項目は 1 項目であった。

表 2-2　肯定的評価（A+B）の割合別項目件数

(%)	100～90	～80	～70	～60	～50	～40	～30	～0	項目総数
R４年度	5	22	5	2	0	1	0	0	35
R３年度	6	17	8	1	2	1	0	0	35
R２年度	5	17	9	3	1	0	0	0	35
R元年度	5	15	9	4	0	0	0	0	33

ア．評価Ａ＋Ｂが 85%以上の「特に評価の高い」項目

・学校は、資格、検定の取得に取り組んでいる。 97.2% 0.3%
・お子さまは、文化祭・体育祭、宿泊行事などの学校行事に、積極的に参加している。 94.9% 1.0%
・新型コロナウイルス感染防止対策を適切に行っている。 94.5% 0.5%
・ＩＣＴ機器を活用して、学習指導・生活指導が行われている。 93.1% 22.7%
・学校の施設・設備は、学習環境の面で満足できる。 91.2% 16.5%
・学校の文化行事（芸術鑑賞・講演会等）は、充実していると思う。 89.9% 3.0%
・学校は、保護者に出す文書・事務連絡を適切に行っている。 89.4% -0.5%
・学校は、お子さまの間違った行動を改めるように指導していると思う。 88.5% 0.6%
・学校は、校内美化、校区美化活動に取り組んでいると思う。 87.6% -0.3%
・先生は、お子さまを熱心に指導していると思う。 87.6% 2.6%
・学校でのＰＴＡ活動は活発である。 87.6% 28.9%
・事務職員の保護者への対応はよい。 87.1% -4.4%
・本校のＷｅｂページなどで学校の教育内容をよく知ることができる。 86.6% -8.8%
・お子さまを、大阪国際中学に入学させてよかったと思う。 86.6% 1.3%

イ．評価Ａ＋Ｂが 65%未満の「評価の低い」項目

・学校は、保護者がお子さまの学校生活を参観する機会をよく設けている。 42.9% -5.4%
・高校・大学の進路指導に関して適切なアドバイスがある。 62.7% -6.5%

○ 教員（常勤）

アンケートの項目（全 50 項目）を肯定的評価（Ａ＋Ｂ）の割合で集計したのが表 3 である。肯定的評価が 80%以上の「評価の高い」項目は 21 項目で全体の 42%、肯定的評価が 60%未満の「評価の低い」項目は 11 項目で全体の 22.0%であった。評価Ａ＋Ｂが 90%以上の「特に評価が高い」項目の 10 項目と評価Ａ＋Ｂが 50%未満の「評価の低い」11 項目は、以下の通りである。

表 3　肯定的評価（A+B）の割合別項目件数

(%)	100～90	～80	～70	～60	～50	～40	～30	～20	～10	項目総数
R４年度	9	11	11	6	6	4	3	0	0	50
R３年度	10	11	9	6	3	3	4	4	0	50
R２年度	17	6	10	6	1	3	4	3	0	50
R元年度	8	9	16	3	3	6	3	0	0	48

ア．評価Ａ＋Ｂが 85%以上の「特に評価の高い」項目

・カウンセリング制度があり、活用されている。	100.0%	1.8%
・学校ホームページで可能な範囲の情報公開をしている。	98.3%	3.6%
・体調不良・ケガ等への対応はスムーズに行えている。	98.3%	1.8%
・保健室の機能が十分に活用されている。	94.9%	3.7%
・学習指導において、生徒の実態に合わせた指導方法の工夫・改善を行っている。	93.2%	3.7%
・生徒指導において、家庭との連携ができている。	93.1%	0.1%
・教育課程は学習指導要領に沿っている。	91.5%	-3.1%
・生徒に応じたきめ細かな教育を実施している。	91.5%	2.2%
・ICT 機器を活用して、学習指導・生活指導が行われている。	91.5%	12.6%
・年間を通じた教育計画を各教科別に立てている。	89.8%	-4.9%
・生徒一人ひとりの興味・関心・適性に応じた進路選択ができるような支援体制がある。	89.7%	7.2%
・生徒の情報活用能力の育成を図っている。	86.4%	12.8%
・進路の実現に向けて計画的な学習指導がなされている。	86.4%	-2.4%
・新型コロナウイルス感染防止対策を適切に行っている	86.4%	-6.3%
・疾病予防、健康維持、衛生管理の指導・啓発が行われている。	86.4%	-2.8%
イ．評価Ａ＋Ｂが 60%未満の「評価の低い」項目		
・ボランティア活動は活発だ。	32.2%	-2.3%
・評議員会、理事会の役割や機能について理解している。	37.3%	11.0%
・地域や地域住民との交流ができている。	37.3%	3.4%
・教員が計画的に校外研修を受ける体制が整っている。	40.7%	17.9%
・保護者などへ授業を公開している。	42.4%	-5.8%
・初任者等、経験の少ない教員を学校全体でサポートする体制がある。	42.4%	4.9%
・併設大学・短大との連携体制が整い、指導が行われている。	44.1%	14.2%
・予算、決算の収支の状況について理解している。	50.8%	11.6%
・ゴミ、リサイクル、省エネなど身近な問題から環境への関心を高める教育をしている。	52.5%	5.2%
・事故、事件、災害時に対処する役割分担が明確にされている。	54.2%	-13.6%
・生徒に清掃、校内美化に取り組ませている。また、施設・設備を大切にする心を育成している。	54.2%	-24.7%
・生徒会活動を通じて、生徒が主体的に活動できるよう学校全体で支援している。	56.9%	-32.4%
・研修、研究に参加した成果を、他教員に伝えて情報を共有する体制がある。	59.3%	36.1%

学校関係者評価委員会からの意見

〇学校関係者評価委員会

大阪国際大学　教授	中村　昌子
守口市立樟風中学校　校長	佐藤　裕宣
大阪国際高等学校　三窓会会長	岩本　和也
大阪国際中学校高等学校　ＰＴＡ会長	松永　尚樹
高瀬４丁目町会　会長	川口　洋司

〈学校関係者〉

校長　松下　寛伸、副校長・高校教頭　黒川　泰宏、中学教頭　杉井　紀夫、事務長　塚本　和宏

〇校長からの今年度の取り組みに対する見解

1.　「質の高い学びとバランスの取れた人間形成」の実践

・今回の学校評価アンケートは、新校開校後、また旧大和田生（中 2/中 3/高 2/高 3）にとっては新キャンパスへの移転後初のアンケート実施となる。「学校がよりよく変わっているように感じる」は概ね前年比改善傾向で、肯定的評価が 80%前後の学年が多い。また、「学校の施設・設備は満足できる」は、当然ではあるが、前年比劇的に改善している。

ただし、新校に入学してきた高１の両項目に対する評価は決して高いものではなく、運営・運用面での課題認識は持たねばならない。

・「学校の教育方針を理解している」「学校は学習だけではなく、将来の自分の生き方を考えさせ、豊かな心を育てようとしている」も上記と同様の傾向。本校の教育の特色の実践面で、よりその内容充実を図っていく必要がある。

・「学校行事に積極的に参加している」は、中学・高校ともほぼ全学年が肯定的評価が 90%超となる高評価。今年度に入り、コロナ禍が少し落ち着きを見せたことで、学校行事がほぼ例年並みに実施することができたことを反映している。

・「学校の授業は総じて分かりやすい」「学校は学力向上に取り組んでいる」「学校は分からなかった時の補習、質問指導に熱心である」「先生は熱心に指導している」などの授業・学力向上への取り組みに関する質問は、中学・高校とも肯定的評価が 80%～90%台と高評価。保護者・教員評価とも大きなズレは無い。

・「ICT 機器を活用して生徒指導・学習指導が行われている」は、Chromebook を所有ないしは全員が貸与を受けている高１・中学では評価が非常に高い。最新の設備環境を活かし、よりその内容充実を図っていきたい。

・従来の女子バレーボール部に加え、今年度より女子ラクロス部、吹奏楽部をシンボリッククラブとして強化を実施。次年度からは、男子硬式テニス部もここに加わる。クラブ活動に関しては、中学・高校とも 70～90%が肯定的評価。

2.　進路指導

・進路指導に対しては、生徒・教員とも肯定的評価が約 90%となっており、高評価。

・今年度の内部進学者は２名。志望者の絶対数が少ないため、大学・短大との連携体制については、肯定的評価が 44%と低評価であるが、昨年比では 15%向上しており、高１に内部進学も想定するコースが設定された影響が見てとれる。

3.　生徒指導

・生徒指導に関する質問項目に対し、生徒・保護者の評価は昨年比大きな変化は無い。しかしながら、教員の肯定的評価はどの項目も概ね 70%以上ながらも、昨年比では 10%以上低下しているものが多い。これは、新校開校に伴い校則の変更を行ったことから、運用面での揺れがまだある影響と思われる。

・清掃・校内美化に対する教員評価が大きく低下しているが、終業時間が異なるコース設定に伴う頻度の変更や、教室内が絨毯敷きとなったことによる清掃方法の変更から来るものと思われる。新しいスタイルでも生徒指導や校内美化の観点からしっかりと機能する形を確立していく。

・校内での挨拶が少しおろそかになっている面を感じる。教員のアンケート結果にも表れており、次年度では学校をあげて、励行の運動を盛り上げていきたい。

4.　グローバル人材の育成

・コロナ禍も少し落ち着きを見せた中、徐々に国際交流や異文化理解に関する取組みも再開。海外修学旅行は時期が１学期ということもあり、すべて中止となったが、年度末の高校 UCLA 研修、ベトナム医療ボランティア研修、中学タスマニア研修は３年振りに開催することが出来た。

・AFS 交換留学生として東南アジアより４名の留学生を受け入れ。また、タイの高校生の学校訪問を受け入れたり、ハーバード大学のアカペラクラブの公演を誘致したりするなど、校内での国際交流の機会を多く設けることができた。

・中学生対象のイングリッシュキャンプやグローバルビレッジ、中高の英語によるスピーチコンテストは本年も継続的に実施。昨年試行を行った中学のオンライン英会話の授業は、今年度より通年実施することが出来た。また、高校でも、守口市が姉妹都市連携を結んでいるカナダのニューウェストミンスター市の高校生とのオンライン交流会を初めて実施した。

・中学で英語力向上のための新プログラムを開始。ネイティブ教員との英会話の機会を常設化する English Commons や、英検２級以上の英語力をすでに保有する生徒向けのブラッシュアッププログラムの展開などを実施、高評価を得ている。

・上記のような取り組みの結果、国際交流に関する教員の肯定的評価は 80%超と大きく改善。生徒の評価も改善が見られることから、その期待に応えるべく、次年度もより積極的に取り組んでいきたい。

5.　人材開発

・新校開校と同時に、体系だった人材開発プログラムの構築に着手。まずは、年度初めの新任教員向け研修や、教員の学び合いの姿勢を醸成することを目的とした「Learning Teachers」のサイト開設を実施。「Learning Teachers」は、各教員が外部研修などでの学びを共有する場として機能している。

・11 月に、国立教育政策研究所の千々布敏弥先生をお招きし、「主体的、対話的で深い学びにつなげるために～教員のリフレクションの重要性～」というテーマで講演会を行った。また、先生は授業改善に向けた様々なご指導をされていることから、先生を交えた教員の相互授業見学会も合わせて実施。先生よりのフィードバックに加え、その授業内容を題材とした勉強会も実施し、教員にとっては非常に貴重な学びの機会となった。

・校長やスーパーバイザーによる授業見学、フィードバック指導も定期的に実施。
・研修についてはまだまだ改善点も多く、教員の肯定的評価も絶対値としては未だ低水準。しかしながら、関連項目はどれも前年比では20%前後改善しており、次年度もよりその内容充実を図っていきたい。

6. 組織改革

・教職員が「生徒に振り向ける時間を極大化」すべく、働き方改革の取り組みを通年で実施。
校長による全教員からの問題意識と改善提案の聴取を踏まえ、全組織的に校務の効率化に取り組んだ。進捗状況については、運営委員会・職員会議で都度報告することで「見える化」も図り、全教員共通認識の下、組織改革につなげることが出来た。
・PTA 活動では、年間 8 回の交流会を実施することができ、校長はじめ教員も積極的に参加。「PTA 活動は活発である」への保護者評価は前年比 30%以上の大きな改善を見せ、肯定的評価が 80%台後半の高評価を取り戻した。

資料①A－0

令和4年度　学校評価（生徒・中学生）アンケート集計表

大阪国際中学校高等学校

実施日　令和5年2月　対象：中学生　集計人数：220名（229名中）

設問No	設問内容		A＋B	A そう思う		B ややそう思う		C あまりそう思わない		D そう思わない		回答数
1	学校の建学の精神を理解している	学校運営・教育活動	83.6%	50	22.7%	134	60.9%	31	14.1%	5	2.3%	220
2	学校の教育方針を理解している		88.2%	58	26.4%	136	61.8%	20	9.1%	6	2.7%	220
3	学校の授業は、総じて分かりやすい		92.7%	53	24.1%	151	68.6%	15	6.8%	1	0.5%	220
4	学校は、学力向上に取り組んでいる		93.6%	89	40.5%	117	53.2%	12	5.5%	2	0.9%	220
5	学校は、わからなかったときの補習、質問指導に熱心である		85.9%	77	35.0%	112	50.9%	28	12.7%	3	1.4%	220
6	自分のクラスは総じて楽しい		89.5%	104	47.3%	93	42.3%	17	7.7%	6	2.7%	220
7	学校がよりよく変わっているように感じる		76.8%	49	22.3%	120	54.5%	41	18.6%	10	4.5%	220
8	先生は、いじめや暴力のないクラスづくりに取り組んでいる	生徒指導	85.5%	98	44.5%	90	40.9%	28	12.7%	4	1.8%	220
9	先生は、生徒の人権を尊重する姿勢で指導にあたっている		87.3%	86	39.1%	106	48.2%	21	9.5%	7	3.2%	220
10	先生は、生徒の間違った行動を改めるように指導している		94.5%	126	57.3%	82	37.3%	10	4.5%	2	0.9%	220
11	学校は、緊急時の対応を生徒に伝えている	防災	86.4%	85	38.6%	105	47.7%	26	11.8%	4	1.8%	220
12	学校は、災害が起こった場合の訓練を行っている		85.0%	84	38.2%	103	46.8%	30	13.6%	3	1.4%	220
13	文化祭・体育祭、宿泊行事などの学校行事に、積極的に参加している	課外活動	94.5%	134	60.9%	74	33.6%	12	5.5%	0	0.0%	220
14	学校の生徒会活動は活発である		76.8%	61	27.7%	108	49.1%	44	20.0%	7	3.2%	220
15	学校の部活動は活発である		89.5%	110	50.0%	87	39.5%	18	8.2%	5	2.3%	220
16	学校は、国際理解・ボランティア活動等に取り組んでいる		81.8%	67	30.5%	113	51.4%	29	13.2%	11	5.0%	220
17	学校は、校内美化、校区美化活動に取り組んでいる		80.5%	63	28.6%	114	51.8%	35	15.9%	8	3.6%	220
18	学校の文化行事（芸術鑑賞・講演会等）は、充実している		91.4%	99	45.0%	102	46.4%	17	7.7%	2	0.9%	220
19	高校の進路指導に関して適切なアドバイスがある	進路	68.6%	48	21.8%	103	46.8%	39	17.7%	30	13.6%	220
20	学校は、学習だけでなく、将来の自分の生き方を考えさせ、豊かな心を育てようとしている		87.3%	72	32.7%	120	54.5%	21	9.5%	7	3.2%	220
21	学校は、資格、検定の取得に取り組んでいる		98.2%	153	69.5%	63	28.6%	1	0.5%	3	1.4%	220
22	先生は、熱心に指導している	教員	93.2%	101	45.9%	104	47.3%	12	5.5%	3	1.4%	220
23	先生は、自分たちのことを理解している		75.0%	56	25.5%	109	49.5%	42	19.1%	13	5.9%	220
24	困ったとき、相談をしたり手助けしたりしてくれる先生がいる		80.5%	89	40.5%	88	40.0%	31	14.1%	12	5.5%	220
25	学校の施設・設備は、学習環境の面で満足できる	施設	89.5%	90	40.9%	107	48.6%	17	7.7%	6	2.7%	220
26	事務室での手続きや相談の対応は、親切である	事務室	88.6%	88	40.0%	107	48.6%	17	7.7%	8	3.6%	220
27	保健室での処置や相談の対応は、親切である	その他	92.7%	134	60.9%	70	31.8%	11	5.0%	5	2.3%	220
28	本校のWebページの内容は充実している		91.4%	89	40.5%	112	50.9%	17	7.7%	2	0.9%	220
29	本校の生徒であることに誇りを持っている		84.5%	86	39.1%	100	45.5%	29	13.2%	5	2.3%	220
30	大阪国際中学に入学してよかったと思っている		87.7%	92	41.8%	101	45.9%	22	10.0%	5	2.3%	220
31	新型コロナウイルス感染防止対策を適切に行っている	コロナ対応	90.9%	109	49.5%	91	41.4%	15	6.8%	5	2.3%	220
32	ICT機器を活用して、生活指導・学習指導が行われている		88.6%	87	39.5%	108	49.1%	21	9.5%	4	1.8%	220

資料①B－0

令和4年度　学校評価（生徒・高校生）アンケート集計表

大阪国際中学校高等学校

実施日　令和5年2月　対象：高校生　集計人数：871名（927名中）

設問No	設問内容		A+B	A そう思う		B ややそう思う		C あまりそう思わない		D そう思わない		回答数
1	学校の建学の精神を理解している	学校運営・教育活動	59.2%	138	15.8%	378	43.4%	251	28.8%	104	11.9%	871
2	学校の教育方針を理解している		64.1%	149	17.1%	409	47.0%	221	25.4%	92	10.6%	871
3	学校の授業は、総じて分かりやすい		76.7%	152	17.5%	516	59.2%	170	19.5%	33	3.8%	871
4	学校は、学力向上に取り組んでいる		87.0%	317	36.4%	441	50.6%	90	10.3%	23	2.6%	871
5	学校は、わからなかったときの補習、質問指導に熱心である		85.9%	344	39.5%	404	46.4%	101	11.6%	22	2.5%	871
6	自分のクラスは総じて楽しい		89.7%	471	54.1%	310	35.6%	52	6.0%	38	4.4%	871
7	学校がよりよく変わっているように感じる		58.7%	161	18.5%	350	40.2%	250	28.7%	110	12.6%	871
8	先生は、いじめや暴力のないクラスづくりに取り組んでいる	生徒指導	89.2%	373	42.8%	404	46.4%	70	8.0%	24	2.8%	871
9	先生は、生徒の人権を尊重する姿勢で指導にあたっている		83.2%	316	36.3%	409	47.0%	104	11.9%	42	4.8%	871
10	先生は、生徒の間違った行動を改めるように指導している		92.0%	421	48.3%	380	43.6%	58	6.7%	12	1.4%	871
11	学校は、緊急時の対応を生徒に伝えている	防災	82.4%	315	36.2%	403	46.3%	120	13.8%	33	3.8%	871
12	学校は、災害が起こった場合の訓練を行っている		84.6%	340	39.0%	397	45.6%	105	12.1%	29	3.3%	871
13	文化祭・体育祭、宿泊行事などの学校行事に、積極的に参加している	課外活動	87.9%	481	55.2%	285	32.7%	66	7.6%	39	4.5%	871
14	学校の生徒会活動は活発である		51.7%	152	17.5%	298	34.2%	275	31.6%	146	16.8%	871
15	学校の部活動は活発である		80.0%	325	37.3%	372	42.7%	128	14.7%	46	5.3%	871
16	学校は、国際理解・ボランティア活動等に取り組んでいる		68.9%	218	25.0%	382	43.9%	216	24.8%	55	6.3%	871
17	学校は、校内美化、校区美化活動に取り組んでいる		65.4%	179	20.6%	391	44.9%	239	27.4%	62	7.1%	871
18	学校の文化行事（芸術鑑賞・講演会等）は、充実している		68.2%	228	26.2%	366	42.0%	182	20.9%	95	10.9%	871
19	大学の進路指導に関して適切なアドバイスがある	進路	81.7%	328	37.7%	384	44.1%	128	14.7%	31	3.6%	871
20	学校は、学習だけでなく、将来の自分の生き方を考えさせ、豊かな心を育てようとしている		72.9%	225	25.8%	410	47.1%	166	19.1%	70	8.0%	871
21	学校は、資格、検定の取得に取り組んでいる		93.9%	486	55.8%	332	38.1%	37	4.2%	16	1.8%	871
22	先生は、熱心に指導している	教員	88.1%	335	38.5%	432	49.6%	77	8.8%	27	3.1%	871
23	先生は、自分たちのことを理解している		67.4%	191	21.9%	396	45.5%	206	23.7%	78	9.0%	871
24	困ったとき、相談をしたり手助けしたりしてくれる先生がいる		78.3%	309	35.5%	373	42.8%	132	15.2%	57	6.5%	871
25	学校の施設・設備は、学習環境の面で満足できる	施設	75.1%	304	34.9%	350	40.2%	144	16.5%	73	8.4%	871
26	事務室での手続きや相談の対応は、親切である	事務室	83.9%	307	35.2%	424	48.7%	101	11.6%	39	4.5%	871
27	保健室での処置や相談の対応は、親切である	その他	92.0%	461	52.9%	340	39.0%	45	5.2%	25	2.9%	871
28	本校のWebページの内容は充実している		73.2%	216	24.8%	422	48.5%	186	21.4%	47	5.4%	871
29	本校の生徒であることに誇りを持っている		62.8%	168	19.3%	379	43.5%	211	24.2%	113	13.0%	871
30	大阪国際高校に入学してよかったと思っている		69.3%	231	26.5%	373	42.8%	166	19.1%	101	11.6%	871
31	新型コロナウイルス感染防止対策を適切に行っている	コロナ対応	84.3%	314	36.1%	420	48.2%	109	12.5%	28	3.2%	871
32	ICT機器を活用して、生活指導・学習指導が行われている		73.5%	278	31.9%	362	41.6%	169	19.4%	62	7.1%	871

現在何年生ですか　⓪1年生　①2年生　②3年生
現在何組ですか
性別をマークしてください　⓪男子　①女子

資料②A+B－0　令和4年度　学校評価（保護者・中高全学年）アンケート集計表

大阪国際中学校高等学校

実施日：令和5年1月～2月（在宅回答）　対象：本校中学校および高校保護者　集計人数：1037名（1156名中）

設問No.	設問内容		A＋B	A そう思う		B ややそう思う		C あまりそう思わない		D そう思わない		回答数
1	学校は、保護者や生徒に対して、建学の精神をわかりやすく伝えている。	学校運営・教育活動	72.7%	220	21.2%	534	51.5%	243	23.4%	40	3.9%	1037
2	学校は、保護者に教育方針をわかりやすく伝えている。		73.5%	232	22.4%	530	51.1%	243	23.4%	32	3.1%	1037
3	お子様は、授業が分かりやすいと言っている。		74.4%	187	18.0%	585	56.4%	231	22.3%	34	3.3%	1037
4	学校は、お子さまの学力向上に取り組んでいると思う。		79.7%	330	31.8%	497	47.9%	169	16.3%	41	4.0%	1037
5	学校は、保護者がお子さまの学校生活を参観する機会をよく設けている。		36.6%	98	9.5%	282	27.2%	464	44.7%	193	18.6%	1037
6	学校は、情報を積極的に発信している。		75.4%	301	29.0%	481	46.4%	215	20.7%	40	3.9%	1037
7	学校は、保護者に出す文書・事務連絡を適切に行っている。		87.6%	399	38.5%	509	49.1%	109	10.5%	20	1.9%	1037
8	校長は、積極的に学校改革に取り組んでいると思う。		70.4%	245	23.6%	485	46.8%	256	24.7%	51	4.9%	1037
9	学校は、いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいると思う。	生徒指導	86.0%	298	28.7%	594	57.3%	119	11.5%	26	2.5%	1037
10	学校は、教師が生徒の人権を尊重する姿勢で指導にあたっていると思う。		82.3%	292	28.2%	561	54.1%	146	14.1%	38	3.7%	1037
11	学校は、お子さまの間違った行動を改めるように指導していると思う。		88.4%	321	31.0%	596	57.5%	105	10.1%	15	1.4%	1037
12	学校は、家庭への連絡や意思疎通を行っている。		80.8%	346	33.4%	492	47.4%	176	17.0%	23	2.2%	1037
13	学校は、緊急時の対応を生徒に伝えている	防災	82.2%	333	32.1%	519	50.0%	158	15.2%	27	2.6%	1037
14	学校は、災害が起こった場合の訓練を行っていると思う		80.2%	286	27.6%	546	52.7%	176	17.0%	29	2.8%	1037
15	お子さまは、文化祭・体育祭、宿泊行事などの学校行事に、積極的に参加している。	課外活動	91.1%	619	59.7%	326	31.4%	78	7.5%	14	1.4%	1037
16	学校の生徒会活動は活発だと思う。		66.3%	191	18.4%	497	47.9%	286	27.6%	63	6.1%	1037
17	学校の部活動は活発だと思う。		74.4%	319	30.8%	453	43.7%	220	21.2%	45	4.3%	1037
18	学校は、国際理解・ボランティア活動等に取り組んでいると思う。		71.8%	231	22.3%	514	49.6%	256	24.7%	36	3.5%	1037
19	学校は、校内美化、校区美化活動に取り組んでいると思う。		87.3%	394	38.0%	511	49.3%	113	10.9%	19	1.8%	1037
20	学校の文化行事（芸術鑑賞・講演会等）は、充実していると思う。		82.5%	407	39.2%	449	43.3%	154	14.9%	27	2.6%	1037
21	高校・大学の進路指導に関して適切なアドバイスがある。	進路	73.2%	293	28.3%	466	44.9%	216	20.8%	62	6.0%	1037
22	学校は、学習だけでなく、将来の自分の生き方を考えさせ、豊かな心を持った生徒を育てようとして		70.8%	277	26.7%	457	44.1%	246	23.7%	57	5.5%	1037
23	学校は、資格、検定の取得に取り組んでいる。		90.7%	491	47.3%	450	43.4%	80	7.7%	16	1.5%	1037
24	先生は、お子さまを熱心に指導していると思う。	教員	82.4%	375	36.2%	479	46.2%	148	14.3%	35	3.4%	1037
25	先生は、お子さまのことを理解していると思う。		78.1%	322	31.1%	488	47.1%	182	17.6%	45	4.3%	1037
26	先生は、保護者の相談に適切に応じ、意思疎通をきめ細かく行っている。		76.8%	316	30.5%	480	46.3%	200	19.3%	41	4.0%	1037
27	学校の施設・設備は、学習環境の面で満足できる。	施設	89.8%	584	56.3%	347	33.5%	75	7.2%	31	3.0%	1037
28	事務職員の保護者への対応はよい。	事務室	88.0%	428	41.3%	485	46.8%	96	9.3%	28	2.7%	1037
29	学校でのPTA活動は活発である。	PTA	86.6%	341	32.9%	557	53.7%	117	11.3%	22	2.1%	1037
30	学校のPTA活動には参加しやすい。		65.7%	232	22.4%	449	43.3%	282	27.2%	74	7.1%	1037
31	本校のWebページなどで学校の教育内容をよく知ることができる。	その他	80.0%	312	30.1%	518	50.0%	176	17.0%	31	3.0%	1037
32	ご家庭でお子さまは、自分の学級が楽しいと言っている。		82.6%	414	39.9%	443	42.7%	133	12.8%	47	4.5%	1037
33	お子さまを、大阪国際中学に入学させてよかったと思う。		84.1%	452	43.6%	420	40.5%	130	12.5%	35	3.4%	1037
34	新型コロナウイルス感染防止対策を適切に行っている。	コロナ対応	90.7%	415	40.0%	526	50.7%	72	6.9%	24	2.3%	1037
35	ICT機器を活用して、学習指導・生活指導が行われている。		82.8%	370	35.7%	489	47.2%	139	13.4%	39	3.8%	1037

資料②A－0

令和4年度　学校評価（保護者・中学）アンケート集計表

大阪国際中学校高等学校

実施日：令和5年1月～2月（在宅回答）　対象：本校中学校保護者　集計人数：217名（229名中）

設問No.	設問内容		A＋B	A そう思う		B ややそう思う		C あまりそう思わない		D そう思わない		回答数
1	学校は、保護者や生徒に対して、建学の精神をわかりやすく伝えている。	学校運営・教育活動	81.1%	66	30.4%	110	50.7%	37	17.1%	4	1.8%	217
2	学校は、保護者に教育方針をわかりやすく伝えている。		81.6%	77	35.5%	100	46.1%	37	17.1%	3	1.4%	217
3	お子様は、授業が分かりやすいと言っている。		77.4%	49	22.6%	119	54.8%	45	20.7%	4	1.8%	217
4	学校は、お子さまの学力向上に取り組んでいると思う。		80.2%	77	35.5%	97	44.7%	34	15.7%	9	4.1%	217
5	学校は、保護者がお子さまの学校生活を参観する機会をよく設けている。		42.9%	25	11.5%	68	31.3%	98	45.2%	26	12.0%	217
6	学校は、情報を積極的に発信している。		83.4%	78	35.9%	103	47.5%	31	14.3%	5	2.3%	217
7	学校は、保護者に出す文書・事務連絡を適切に行っている。		89.4%	90	41.5%	104	47.9%	19	8.8%	4	1.8%	217
8	校長は、積極的に学校改革に取り組んでいると思う。		78.3%	74	34.1%	96	44.2%	42	19.4%	5	2.3%	217
9	学校は、いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいると思う。	生徒指導	82.5%	75	34.6%	104	47.9%	29	13.4%	9	4.1%	217
10	学校は、教師が生徒の人権を尊重する姿勢で指導にあたっていると思う。		82.5%	78	35.9%	101	46.5%	28	12.9%	10	4.6%	217
11	学校は、お子さまの間違った行動を改めるように指導していると思う。		88.5%	93	42.9%	99	45.6%	20	9.2%	5	2.3%	217
12	学校は、家庭への連絡や意思疎通を行っている。		84.8%	90	41.5%	94	43.3%	28	12.9%	5	2.3%	217
13	学校は、緊急時の対応を生徒に伝えている	防災	80.2%	90	41.5%	84	38.7%	38	17.5%	5	2.3%	217
14	学校は、災害が起こった場合の訓練を行っていると思う		82.5%	77	35.5%	102	47.0%	32	14.7%	6	2.8%	217
15	お子さまは、文化祭・体育祭、宿泊行事などの学校行事に、積極的に参加している。	課外活動	94.9%	155	71.4%	51	23.5%	10	4.6%	1	0.5%	217
16	学校の生徒会活動は活発だと思う。		81.6%	67	30.9%	110	50.7%	34	15.7%	6	2.8%	217
17	学校の部活動は活発だと思う。		76.0%	89	41.0%	76	35.0%	40	18.4%	12	5.5%	217
18	学校は、国際理解・ボランティア活動等に取り組んでいると思う。		77.4%	69	31.8%	99	45.6%	42	19.4%	7	3.2%	217
19	学校は、校内美化、校区美化活動に取り組んでいると思う。		87.6%	96	44.2%	94	43.3%	21	9.7%	6	2.8%	217
20	学校の文化行事（芸術鑑賞・講演会等）は、充実していると思う。		89.9%	112	51.6%	83	38.2%	19	8.8%	3	1.4%	217
21	高校・大学の進路指導に関して適切なアドバイスがある。	進路	62.7%	48	22.1%	88	40.6%	63	29.0%	18	8.3%	217
22	学校は、学習だけでなく、将来の自分の生き方を考えさせ、豊かな心を持った生徒を育てようとして		75.1%	74	34.1%	89	41.0%	45	20.7%	9	4.1%	217
23	学校は、資格、検定の取得に取り組んでいる。		97.2%	141	65.0%	70	32.3%	4	1.8%	2	0.9%	217
24	先生は、お子さまを熱心に指導していると思う。	教員	87.6%	102	47.0%	88	40.6%	22	10.1%	5	2.3%	217
25	先生は、お子さまのことを理解していると思う。		84.3%	88	40.6%	95	43.8%	23	10.6%	11	5.1%	217
26	先生は、保護者の相談に適切に応じ、意思疎通をきめ細かく行っている。		81.6%	95	43.8%	82	37.8%	33	15.2%	7	3.2%	217
27	学校の施設・設備は、学習環境の面で満足できる。	施設	91.2%	141	65.0%	57	26.3%	16	7.4%	3	1.4%	217
28	事務職員の保護者への対応はよい。	事務室	87.1%	95	43.8%	94	43.3%	21	9.7%	7	3.2%	217
29	学校でのPTA活動は活発である。	PTA	87.6%	85	39.2%	105	48.4%	24	11.1%	3	1.4%	217
30	学校のPTA活動には参加しやすい。		68.2%	64	29.5%	84	38.7%	59	27.2%	10	4.6%	217
31	本校のWebページなどで学校の教育内容をよく知ることができる。	その他	86.6%	93	42.9%	95	43.8%	24	11.1%	5	2.3%	217
32	ご家庭でお子さまは、自分の学級が楽しいと言っている。		84.8%	99	45.6%	85	39.2%	25	11.5%	8	3.7%	217
33	お子さまを、大阪国際中学に入学させてよかったと思う。		86.6%	126	58.1%	62	28.6%	22	10.1%	7	3.2%	217
34	新型コロナウイルス感染防止対策を適切に行っている。	コロナ対応	94.5%	115	53.0%	90	41.5%	6	2.8%	6	2.8%	217
35	ICT機器を活用して、学習指導・生活指導が行われている。		93.1%	114	52.5%	88	40.6%	13	6.0%	2	0.9%	217

資料②B－0

令和4年度　学校評価（保護者・高校）アンケート集計表

大阪国際中学校高等学校

実施日：令和5年1月～2月（在宅回答）　対象：本校高校保護者　集計人数：820名（927名中）

設問No.	設問内容		A＋B	A そう思う		B ややそう思う		C あまりそう思わない		D そう思わない		回答数
1	学校は、保護者や生徒に対して、建学の精神をわかりやすく伝えている。	学校運営・教育活動	70.5%	154	18.8%	424	51.7%	206	25.1%	36	4.4%	820
2	学校は、保護者に教育方針をわかりやすく伝えている。		71.3%	155	18.9%	430	52.4%	206	25.1%	29	3.5%	820
3	お子様は、授業が分かりやすいと言っている。		73.7%	138	16.8%	466	56.8%	186	22.7%	30	3.7%	820
4	学校は、お子さまの学力向上に取り組んでいると思う。		79.6%	253	30.9%	400	48.8%	135	16.5%	32	3.9%	820
5	学校は、保護者がお子さまの学校生活を参観する機会をよく設けている。		35.0%	73	8.9%	214	26.1%	366	44.6%	167	20.4%	820
6	学校は、情報を積極的に発信している。		73.3%	223	27.2%	378	46.1%	184	22.4%	35	4.3%	820
7	学校は、保護者に出す文書・事務連絡を適切に行っている。		87.1%	309	37.7%	405	49.4%	90	11.0%	16	2.0%	820
8	校長は、積極的に学校改革に取り組んでいると思う。		68.3%	171	20.9%	389	47.4%	214	26.1%	46	5.6%	820
9	学校は、いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいると思う。	生徒指導	87.0%	223	27.2%	490	59.8%	90	11.0%	17	2.1%	820
10	学校は、教師が生徒の人権を尊重する姿勢で指導にあたっていると思う。		82.2%	214	26.1%	460	56.1%	118	14.4%	28	3.4%	820
11	学校は、お子さまの間違った行動を改めるように指導していると思う。		88.4%	228	27.8%	497	60.6%	85	10.4%	10	1.2%	820
12	学校は、家庭への連絡や意思疎通を行っている。		79.8%	256	31.2%	398	48.5%	148	18.0%	18	2.2%	820
13	学校は、緊急時の対応を生徒に伝えている	防災	82.7%	243	29.6%	435	53.0%	120	14.6%	22	2.7%	820
14	学校は、災害が起こった場合の訓練を行っていると思う		79.6%	209	25.5%	444	54.1%	144	17.6%	23	2.8%	820
15	お子さまは、文化祭・体育祭、宿泊行事などの学校行事に、積極的に参加している。	課外活動	90.1%	464	56.6%	275	33.5%	68	8.3%	13	1.6%	820
16	学校の生徒会活動は活発だと思う。		62.3%	124	15.1%	387	47.2%	252	30.7%	57	7.0%	820
17	学校の部活動は活発だと思う。		74.0%	230	28.0%	377	46.0%	180	22.0%	33	4.0%	820
18	学校は、国際理解・ボランティア活動等に取り組んでいると思う。		70.4%	162	19.8%	415	50.6%	214	26.1%	29	3.5%	820
19	学校は、校内美化、校区美化活動に取り組んでいると思う。		87.2%	298	36.3%	417	50.9%	92	11.2%	13	1.6%	820
20	学校の文化行事（芸術鑑賞・講演会等）は、充実していると思う。		80.6%	295	36.0%	366	44.6%	135	16.5%	24	2.9%	820
21	大学の進路指導に関して適切なアドバイスがある。	進路	76.0%	245	29.9%	378	46.1%	153	18.7%	44	5.4%	820
22	学校は、学習だけでなく、将来の自分の生き方を考えさせ、豊かな心を持った生徒を育てようとして		69.6%	203	24.8%	368	44.9%	201	24.5%	48	5.9%	820
23	学校は、資格、検定の取得に取り組んでいる。		89.0%	350	42.7%	380	46.3%	76	9.3%	14	1.7%	820
24	先生は、お子さまを熱心に指導していると思う。	教員	81.0%	273	33.3%	391	47.7%	126	15.4%	30	3.7%	820
25	先生は、お子さまのことを理解していると思う。		76.5%	234	28.5%	393	47.9%	159	19.4%	34	4.1%	820
26	先生は、保護者の相談に適切に応じ、意思疎通をきめ細かく行っている。		75.5%	221	27.0%	398	48.5%	167	20.4%	34	4.1%	820
27	学校の施設・設備は、学習環境の面で満足できる。	施設	89.4%	443	54.0%	290	35.4%	59	7.2%	28	3.4%	820
28	事務職員の保護者への対応はよい。	事務室	88.3%	333	40.6%	391	47.7%	75	9.1%	21	2.6%	820
29	学校でのPTA活動は活発である。	PTA	86.3%	256	31.2%	452	55.1%	93	11.3%	19	2.3%	820
30	学校のPTA活動には参加しやすい。		65.0%	168	20.5%	365	44.5%	223	27.2%	64	7.8%	820
31	本校のWebページなどで学校の教育内容をよく知ることができる。	その他	78.3%	219	26.7%	423	51.6%	152	18.5%	26	3.2%	820
32	ご家庭でお子さまは、自分の学級が楽しいと言っている。		82.1%	315	38.4%	358	43.7%	108	13.2%	39	4.8%	820
33	お子さまを、大阪国際高校に入学させてよかったと思う。		83.4%	326	39.8%	358	43.7%	108	13.2%	28	3.4%	820
34	新型コロナウイルス感染防止対策を適切に行っている。	コロナ対応	89.8%	300	36.6%	436	53.2%	66	8.0%	18	2.2%	820
35	ICT機器を活用して、学習指導・生活指導が行われている。		80.1%	256	31.2%	401	48.9%	126	15.4%	37	4.5%	820

資料③－０

令和4年度　学校評価（教員）アンケート集計表

大阪国際中学校高等学校

実施日：令和5年2月　対象：本校教員　集計人数：59名（79名中）

設問No.	設問内容		A＋B	A そう思う		B やや そう思う		C あまり そう思わない		D そう思わない		回答数
1	建学の精神が教職員、生徒、保護者など、学校関係者によく浸透している。	学校運営	62.7%	16	27.1%	21	35.6%	20	33.9%	2	3.4%	59
2	教職員・学校関係者は、学校の方針・目標を理解している。		79.7%	16	27.1%	31	52.5%	11	18.6%	1	1.7%	59
3	在校生、卒業生は学校に誇りを持っている。		71.2%	13	22.0%	29	49.2%	17	28.8%	0	0.0%	59
4	教育課程は学習指導要領に沿っている。		91.5%	30	50.8%	24	40.7%	5	8.5%	0	0.0%	59
5	年間を通じた教育計画を各教科別に立てている。		89.8%	25	42.4%	28	47.5%	5	8.5%	1	1.7%	59
6	教員間教科間の相互理解がなされ、信頼関係に基づいて教育活動が行われている。		81.4%	15	25.4%	33	55.9%	8	13.6%	3	5.1%	59
7	教職員会議をはじめ各種会議が有効かつ効率的に機能している。		66.1%	8	13.6%	31	52.5%	17	28.8%	3	5.1%	59
8	予算、決算の収支の状況について理解している。		50.8%	12	20.3%	18	30.5%	21	35.6%	8	13.6%	59
9	評議員会、理事会の役割や機能について理解している。		37.3%	11	18.6%	11	18.6%	23	39.0%	14	23.7%	59
10	学校ホームページで可能な範囲の情報公開をしている。		98.3%	32	54.2%	26	44.1%	1	1.7%	0	0.0%	59
11	保護者などへ授業を公開している。		42.4%	4	6.8%	21	35.6%	27	45.8%	7	11.9%	59
12	事故、事件、災害時に対処する役割分担が明確にされている。		54.2%	6	10.2%	26	44.1%	23	39.0%	4	6.8%	59
13	危機管理マニュアル、警察、消防との連携、訓練など学校の安全対策は十分とられている。		60.3%	10	17.2%	25	43.1%	20	34.5%	3	5.2%	58
14	地域や地域住民との交流ができている。		37.3%	7	11.9%	15	25.4%	28	47.5%	9	15.3%	59
15	募集活動がうまく展開され、生徒募集がうまくいっている。		78.0%	14	23.7%	32	54.2%	11	18.6%	2	3.4%	59
16	生徒アンケートを踏まえて、分かる授業の実践に向けての取り組みが行われている。	教育内容	81.4%	16	27.1%	32	54.2%	11	18.6%	0	0.0%	59
17	学習指導において、生徒の実態に合わせた指導方法の工夫・改善を行っている。		93.2%	20	33.9%	35	59.3%	4	6.8%	0	0.0%	59
18	生徒は教科の学習に満足している。		81.0%	8	13.8%	39	67.2%	11	19.0%	0	0.0%	58
19	生徒に応じたきめ細かな教育を実施している。		91.5%	22	37.3%	32	54.2%	5	8.5%	0	0.0%	59
20	生徒の情報活用能力の育成を図っている。		86.4%	17	28.8%	34	57.6%	7	11.9%	1	1.7%	59
21	情報の発信に伴う責任など情報のモラル面の教育に十分取り組んでいる。		74.6%	10	16.9%	34	57.6%	14	23.7%	1	1.7%	59
22	人権尊重に関するさまざまな課題や指導方法を教員が研究する体制がある。		62.7%	10	16.9%	27	45.8%	21	35.6%	1	1.7%	59
23	人権尊重の教育において、さまざまな学習方法で、意識を高める教育を行っている。		71.2%	9	15.3%	33	55.9%	16	27.1%	1	1.7%	59
24	ゴミ、リサイクル、省エネなど身近な問題から環境への関心を高める教育をしている。		52.5%	8	13.6%	23	39.0%	26	44.1%	2	3.4%	59
25	生徒に清掃、校内美化に取り組ませている。また、施設・設備を大切にする心を育成している。		54.2%	11	18.6%	21	35.6%	25	42.4%	2	3.4%	59
26	疾病予防、健康維持、衛生管理の指導・啓発が行われている。		86.4%	19	32.2%	32	54.2%	7	11.9%	1	1.7%	59
27	生徒会活動を通じて、生徒が主体的に活動できるよう学校全体で支援している。		56.9%	7	12.1%	26	44.8%	22	37.9%	3	5.2%	58
28	部活動は活発だ。		84.5%	12	20.7%	37	63.8%	8	13.8%	1	1.7%	58
29	ボランティア活動は活発だ。		32.2%	4	6.8%	15	25.4%	28	47.5%	12	20.3%	59
30	体育祭、文化祭などの学校行事は活発だ。		72.9%	16	27.1%	27	45.8%	14	23.7%	2	3.4%	59
31	他国の歴史・文化の理解、異文化交流など国際理解に対する教育活動を取り入れている。		82.8%	17	29.3%	31	53.4%	10	17.2%	0	0.0%	58
32	生徒一人ひとりの興味・関心・適性に応じた進路選択ができるような支援体制がある。	進路指導	89.7%	21	36.2%	31	53.4%	6	10.3%	0	0.0%	58
33	進路の実現に向けて計画的な学習指導がなされている。		86.4%	20	33.9%	31	52.5%	8	13.6%	0	0.0%	59
34	併設大学・短大との連携体制が整い、指導が行われている。		44.1%	6	10.2%	20	33.9%	27	45.8%	6	10.2%	59
35	生徒指導は学校の方針に従っている。	生徒指導・支援	72.4%	15	25.9%	27	46.6%	13	22.4%	3	5.2%	58
36	生徒の生活指導に組織的に対応する体制がある。		78.0%	11	18.6%	35	59.3%	12	20.3%	1	1.7%	59
37	校則に則った服装をすること、また、行動がとれるよう、徹底した指導ができている。		62.1%	9	15.5%	27	46.6%	18	31.0%	4	6.9%	58
38	挨拶をすることや時間をまもる指導などを通して、基本的な生活習慣の確立に努めている。		79.3%	12	20.7%	34	58.6%	12	20.7%	0	0.0%	58
39	生徒指導において、家庭との連携ができている。		93.1%	15	25.9%	39	67.2%	4	6.9%	0	0.0%	58
40	体調不良・ケガ等への対応はスムーズに行えている。		98.3%	33	55.9%	25	42.4%	1	1.7%	0	0.0%	59
41	保健室の機能が十分に活用されている。		94.9%	32	54.2%	24	40.7%	3	5.1%	0	0.0%	59
42	カウンセリング制度があり、活用されている。		100.0%	33	55.9%	26	44.1%	0	0.0%	0	0.0%	59
43	教員間で授業内容を評価、意見交換などを行う機会がある。	教員研修・資質向上	71.2%	12	20.3%	30	50.8%	15	25.4%	2	3.4%	59
44	公開授業・授業アンケート等が定期的に実施、また反映され、授業改善への取り組みが行われている。		71.2%	18	30.5%	24	40.7%	16	27.1%	1	1.7%	59
45	効果的な校内研修計画を立案し、教職員に実施している。		67.8%	13	22.0%	27	45.8%	14	23.7%	5	8.5%	59
46	初任者等、経験の少ない教員を学校全体でサポートする体制がある。		42.4%	7	11.9%	18	30.5%	27	45.8%	7	11.9%	59
47	教員が計画的に校外研修を受ける体制が整っている。		40.7%	7	11.9%	17	28.8%	25	42.4%	10	16.9%	59
48	研修、研究に参加した成果を、他教員に伝えて情報を共有する体制がある。		59.3%	11	18.6%	24	40.7%	21	35.6%	3	5.1%	59
49	新型コロナウイルス感染防止対策を適切に行っている	その他	86.4%	27	45.8%	24	40.7%	7	11.9%	1	1.7%	59
50	ICT機器を活用して、学習指導・生活指導が行われている。		91.5%	22	37.3%	32	54.2%	5	8.5%	0	0.0%	59

学校関係者評価委員会からの意見

○　学校関係者評価委員会　外部委員のご意見　○

大阪国際大学　特任教授	中村　昌子
守口市立樟風中学校　校長	佐藤 裕宣
大阪国際高等学校　三窓会会長	岩本　和也
大阪国際中学校高等学校　ＰＴＡ会長	松永　尚樹
高瀬４丁目町会　会長	川口　洋司

※　コロナウィルス感染症による影響で、昨年度に続き、学校関係者評価委員会の開催を見送ったが、下記のご意見をいただいた。

○　学校評価委員からの今年度の取り組みに対する見解　○

１．「質の高い学びとバランスの取れた人間育成」の実践

・「将来の自分の生き方を考えさせ、豊かな心を育てようとしている」などの点で、特に高校のアンケート結果が下がっていることが気になります。学校の統合による生徒の戸惑いがあらわれたと考えられますので、今後向上していくと思われますが、豊かで温かい学校づくりの推進をお願いします。

・「授業がわかりやすい」、「学力向上に取り組んでいる」等のアンケート結果を見て、中学の肯定的評価が昨年度に比べ、高くなっているのに比べ、高校が低くなっていることが気になりました。

今年度、貴校におかれては移転や校名変更という大きな変化の年であり、昨年度末に校舎の見学をさせてもらい、圧倒的な魅力を感じておりましたが、初年度の様々なご苦労もあるのだろうとお察ししました。

・「学校がよりよく変わっているように感じる」が、昨年度から今年度にかけて全体的な数値が横ばいなことが気になる。

高３のスコアが高いことから１年と２年が数値を下げていると考えられるが、原因は何だと考えられるか？学校の設備に満足できているという結果がある一方でこの項目が低いことが気になる。

・学校の設備に関してはかなり改善された印象がある。ＩＣＴ設備の充実、新校への移転で一時的に満足感が上がった可能性があるので、今年度の１年生の結果を重視したい。

２．進路指導

・生徒それぞれの個に応じた指導については、すばらしいと思う。キャリア発達という視点からのアプローチを入れることで、さらに豊かな進路指導になるのではないかと思う。

・保護者への進路指導に関する情報が少ないのは実感しており、コロナ禍であったためしょうがないかもしれないが、次年度からは改善をお願いしたい。

３．生徒指導

・SNS による問題事象については、確かに早期の学習が重要になっており、ぜひ進めていただきたい。

・昨今 SNS の問題投稿が社会的にも大きく取り上げられており、どういう投稿が良くないかを考えさせる教育が必要ではないか。

・「校則に則った…徹底した指導ができている」の数値が、昨年度から大きく下がっていることから、学校の統合で、先生方も戸惑われることが多かったと拝察いたします。生徒指導はチームでの指導が何よりも大切です。先生方のお力を合わせて、すばらしいチームを作り上げてください。

・生徒会を通じて生徒が積極的に学校と連携できる環境づくりが必要と考えている。自分たちの行動でどう学校が変わっていくかを実感させることで考える力や学校への愛着を醸成して欲しい。

４．グローバル人材の育成

・海外との交流が本格化してきており、英語能力を向上させる貴重な機会や生徒の人間的成長が期待できると思うので、十分な準備のもと、さらに進めて欲しい。

・グローバル人材の育成が概ね上昇傾向。学校の方針と合致しているので、良い傾向と考えている。今後も前向きに進めて欲しい

５．人材開発

・２学期に行われた授業見学週間は、すばらしい実践だと思う。教員が、自分以外の授業を見る機会はどうしても少なくなっているので、このような機会を増やし、授業を豊かに改善して欲しい。

・例年評価が低かった「研修、研究に参加した成果を他教員に伝えて情報を共有する体制がある」がかなり改善されている。どのように実施されているかは分からないものの、属人化しないような取り組みは重要なので、今後も伸びるよう取り組みを進めていただきたい。

６．組織改革

・働き方改革は、重要な課題で、残業時間の把握などにも努めていただき、教職員の健康の保持に努めて欲しい。

・組織改革の数値から、各種会議が有効かつ効率よく機能していること、保護者の意識、ＰＴＡ活動が活発に行われつつあることが感じ取れます。創立当初の様々な課題が、今後２年目、３年目と時を経るごとに解消されていくことが見通せるアンケート結果であると思います。

・中学、高校共に参観が少ないという意見は、次年度以降は改善してもらいたい。

以上